

浦和三郎議会報告

発行No52

発行日:令和6年10月01日
連絡先:上尾市向山5-14-15
発行責任者:浦和 三郎

令和6年9月定例会が開催されました！！

9月定例会は令和5年度各歳出決算6議案、一般会計補正予算を含む15議案を審査し、決算は全議案認定、人事案件2議案は同意、他13議案を可決し9/30(月)閉会しました。
市民より提出された請願1件は採択、議員提出10議案は採択2議案、否決8議案でした。

定例会で審査した議案(抜粋)

総合福祉センター 大規模改造工事 工事請負契約の締結

上尾市総合福祉センターは昭和63年の開設から35年経過し、空調設備や給排水管などの経年劣化が著しいことから、令和6年度から2か年の予定で改修を実施し、建物の長寿命化を図る。

電気設備工事	1億9365万5,000千円	藤電設株式会社
建築工事	5億4,120万円	島村組
機械設備工事	4億8090万9,000千円	株式会社茂田工業所

財源は一般財源と地方債発行(借金)となるが、借金は20or30年で償還する計画。
一般財源は6・7年度分で566万円のみ。

中学校特別教室への エアコン設置を進める ための準備

令和4年9月定例会に於いて市民より提出された請願及び各会派からの要望に答え、令和6年3月定例会において特別教室へのエアコン設置を進めると答弁。令和7年度以降中学校の特別教室にエアコン設置のための工事設計を始める。

工事設計費用 1404万3,000千円

上尾市に対する 「ふるさと納税寄付額」が 当初の想定よりも大きく 上回ることが見込まれる

本市に対するふるさと納税額が大幅に増加する見通しのため返礼品発送に係る経費等を計上する。返礼品のブリジストンサイクルの自転車が好評。

歳入(寄付金)	3億7,200万円
歳出(返礼品経費)	1億7890万8,000千円



令和5年度歳出決算特別委員会から執行部への6項目の提言

1. 適正な財政運営・歳入の確保
2. 子育て施策・教育環境の充実
3. 健康・高齢者施策の充実
4. 災害対策の強化

5. 環境保全
6. 市内事業者支援の強化
7. シティセールスの強化



一 般 質 問 (抜粋)

小中学校給食費の公会計と保育所主食費・副食費保育料についての質問

問)令和4年3月末時点で小学校は68万8,257円で43人、中学校は87万2,000円で33人との答弁があったが、令和6年3月末時点の小中学校での未支払い状況は。

答)令和6年3月末時点での学校給食費の未納状況は、過年度分も含めて、小学校は、455万7,973円で304人、中学校は、346万8,998円で165人であった。

1年間で小学校で6.6倍、中学校は4倍程度未支払い金が増加している。

今まで未支払い金の督促は各学校職員や教師が行っていたが、公会計化に伴い上尾市学校保健課が一手に督促業務を行うため、馴染みのない部署からの督促のため無視されているのでは。

問)令和5年度6月定例会で業務システムは導入したのかと質問した際に導入はしていないとの答弁でした、その後システム化の予算が計上されたが、現状はどのようになっているのか。

答)令和7年度からの学校給食費管理システムの稼働に向けて、システム導入作業をすすめている。

問)今までは、教員や学校事務職員が督促業務を行っていたため、肉体的、精神的な負担軽減が大きく、これを緩和することを目的に公会計化がなされたが、どの程度の負担軽減が図られたか。

答)令和5年度から学校給食費の公会計が開始されたことにより、教員や学校事務職員による未納者に対する督促や訪問等の業務が削減され、負担の軽減につながったと聞いている。管理システム導入後は、市が口座引き落とし業務を行うため、更なる学校の負担軽減になる。

教員や学校事務職員による未納者に対する督促や訪問等の業務が削減され、負担の軽減につながったとの答弁は公会計化の目的が達成されたと判断できます。

問)様々な要因により物の価格が高騰しています、給食用食材も当然値上がりしていると考えられるが、食材納入業者より値上げ申請はあるか。

答)令和6年度上半期は前年度下期と比較して、主食である、パン一食分が約1.8円、うどん一玉が約4.5円、精白米が10キロあたり179円、また牛乳1パックが約5.4円の値上げとなっている。

パン・うどん・精白米・牛乳などは埼玉県学校給食会より購入している、学校給食会は大量に契約購入しているため値上がり幅が少なく済んでいる。

《意見》 給食費の未支払金が増加したのは督促部署が変わったことも一つの要因であるが、保護者の責任感・規範意識の欠如が大いに起因すると考える。正直者がバカを見ないように、今後どのように公平性を担保していくのが行政の大きな課題である。

上 尾 市 の 財 政 収 支 見 通 し

(単位:百万円)

	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年
歳入合計	67,502	69,962	74,976	79,816	77,692	77,882	78,906
歳出合計	69,630	73,460	78,880	83,650	81,826	82,887	84,323
財源不足額	△ 2128	△ 3498	△ 3904	△ 3834	△ 4134	△ 5005	△ 5417



扶助費の増加が見込まれるため、財源不足額は増加する傾向にある。そのため、既存事業の抜本的な見直しなどの歳出抑制や歳入の見直しなどを徹底し財源不足額を可能な限り縮小していく方針である。

市政についてのご意見ご要望なんでもお聞かせ下さい。

連絡先: 議員宅 電話・fax048-726-3086

E-mail ageourara@jcom.home.ne.jp

このレポートは政務活動費で作成しています。